第 73 回日本病理学会秋期特別総会
令和 9/2027 年度　学術研究賞応募書式

ふりがな 応募者氏名		会員 番号	
所属施設		職名	
所属住所	〒		
	Tel:　　Fax: e-mail:		
演題名			

選考用抄録（900 字以内、MS 明朝体 11 ポイント）

記述の中で論文報告しているものについては、業績一覧の番号を附してください。図表不可。

令和9/2027年度　学術研究賞応募者履歴書

西暦　　年　月　日現在

（ふりがな） 応募者氏名		性　別	男　女
生年月日	西暦　　年　　月　　日　（　　才）		
本学会での 受賞歴	（受賞年・賞の名称・タイトル）		
学位 および 病理関係資格等	（取得年・学位/資格の名称）		
学歴（大学以降） および 職歴			
Pathology International への総説投稿	以下について、ご了承後される場合はチェックを入れてください。 □ 受賞した場合は Pathology International へ総説を投稿することを約束します。		
Pathology International への論文出版歴	□有　（　　編）　□無 （共著を含む。有る場合は業績欄に記載してください）		

Ⅰ. 学術研究賞選考用関連論文一覧
以下の要領・記載例に従って作成してください。
・論文業績（20 編以内）は 1 番を最新として、時系列で降順に示してください。
・著者は省略せず全員を記載してください。
・応募者に下線を付し、太字にしてください。応募者が責任著者の場合には「*」を付してください。
・掲載誌を太字にしてください。
・主要論文（5 編以内）には番号に「○」印をつけてください。

記載例:
I. 関連論文一覧（全○編）
1. Tanaka J, Yamada S, **Suzuki I*.** Single cell RNA analysis of ZRRF1-induce breast cancer mice model. **Pathol Int** 72; 500-505, 2022
2. **鈴木一郎,** 田中二郎, 山田三郎, 伊藤四郎. 浸潤性乳管癌の間質形成と臨床的特性. **診断病理**, 50; 175-180, 2021
3. **Suzuki I,** Tanaka J, Yamada S, Ito S. Immunohistochemical analysis of ZRRF1 in invasive ductal carcinoma of the breast. **Pathol Int** 68; 203-210, 2018
4. **Suzuki I**, Tanaka J, Yamada S, Ito S. Cloning of signaling molecule ZRRF1 in breast cancer cell line MCF7. **Pathol Int** 60; 124-130, 2010
5. ・・・・・

II. （参考資料）Pathology International 誌掲載論文一覧
以下の要領・記載例に従って作成してください。
・Pathology International 誌に論文掲載が有る場合には、論文業績（20 編以内）とは別途記載してください。上記論文業績 20 編に含まれる場合にも再度提示してください。総説、原著論文、症例報告、その他に分けて記載してください。
記載例：
II. Pathology International 誌掲載論文一覧（全 6 編）
総説
1. Yamada, S., Tanaka, J., and **Suzuki I.** New classification of breast cancer in Japan. **Pathology Int**, 58, 104-1016, 2008.
原著論文
2. Tanaka J, Yamada S, **Suzuki I*.** Single cell RNA analysis of ZRRF1-induce breast cancer mice model. **Pathol Int** 72; 500-505, 2022
3. **Suzuki I,** Tanaka J, Yamada S, Ito S. Immunohistochemical analysis of ZRRF1 in invasive ductal carcinoma of the breast. **Pathol Int** 68; 203-210, 2018
4. **Suzuki I**, Tanaka J, Yamada S, Ito S. Cloning of signaling molecule ZRRF1 in breast cancer cell line MCF7. **Pathol Int** 60; 124-130, 2010
症例報告
5.**Suzuki I,** Tanaka J, Yamada S, Ito S. A case of invasive ductal carcinoma of the breast expressing ZRRF1. **Pathol Int** 68; 180-188, 2018
その他(letter to the editor)
6.**Suzuki I,** Tanaka J, Yamada S, Ito S. Technical notes for immunostaining for invasive ductal carcinoma of the breast. **Pathol Int** 66; 194-199, 2016

※ 代表的な自著論文 5 編以内の別刷り